



トライアスロン/アジア選手権・シンガポール大会4位  
細田貴茂<sup>たかし</sup>くん

## 狭山の元気 発見

**躍**  
止佳

いきいき狭山人  
ひと

一般的にジュニアは、スイム(0.75km)、バイク(20km)、ラン(5km)、一般の半分の距離で競います

トライアスロンのゴールは、苦しく、険しい道のり  
一つひとつ目標をクリアして、夢は7年後のロンドンオリンピック

トライアスロンは別名鉄人レースとも呼ばれ、スイム(水泳)、バイク(自転車)、ラン(マラソン)の3種目を連続して行う過酷な競技です。そんなトライアスロンに打ち込んでいるのが細田貴茂くん、狭山経済高校に通う高校一年生です。

細田くんは、今年の6月のジュニアスプリント幕張大会で2位に入賞し、アジア選手権・シンガポール大会出場の切符を手に入れました。そして7月、シンガポール大会でジュニア(15〜19歳)クラス4位と健闘しました。このクラスで初めて戦う海外での大きな大会。10位までに入ればと思っていたので、結果には満足ですが、あと一歩で3位までに入賞できれば、9月11日愛知県・蒲郡で開催される世界選手権の出場権がもたらただけに、「悔しさをにじませます」。

「トライアスロンは、気軽にできるような競技ではありませんが、父がトライアスロンの選手なので、私にとっては小さいころから身近なスポーツでした」。

そんな細田くんは、幼稚園の年長から水泳やマラソンを始め、小学4年のころからトライアスロン大会に出場し、徐々に力をつけていきました。



目標に向かって黙々と練習

生や先輩が理解してくれ、逆に暖かく応援してくれることに感謝の気持ちを忘れません。また、今回のシンガポール大会から帰り、初めて学校の教室に入ったとき、黒板に『お帰りなさい』のメッセージを見つけ、

クラスみんなが応援してくれていることに感激したそうです。そして、テレビ電話で、練習メニューを手エックしてくれる単身赴任中の父や日々栄養管理などを考えてくれている母、友だちや家族の注ぐ熱い思いが、過酷な競技を戦つたうえでの支えになっています。

くつらいつ分、その成果が大会で発揮できたときやゴールの瞬間は、うれしさも倍増します」という細田くん。また、「レース中は、タイムはあまり気になりませんが、順位にはこだわります」とトップアスリートとしての勝負に対する気持ちが伝わってきます。

学校で、長距離の練習をするために所属している陸上部の部活動を水泳や自転車の練習のため早めに切り上げなければならぬことも。そんな時、顧問の先

これからの目標を伺うと、10月の日本選手権にジュニアでなく一般として出場し、よい成績を残すこと。そして、来年のスイス世界選手権へ。最終的には、2012年のロンドンオリンピックに出場したい」と日焼けした顔ですがすがしく力強く語ってくれました。



猪股睦夫さん  
(柏原在住)

私は、PTAや青少年育成地域会議などが行つた防犯パトロールに参加していますが、その活動の中で、最近の子ども達の行動について考えることがあります。毎年、夏休みになると、子ども達が解放感に浸るからか、夜遊びしている姿を目にします。また、親子との関係が、良くも悪くも友達感覚になつてきているように、夜遅

くまで親が子どもを連れて遊んでいる姿も見かけます。皆さんは、埼玉県の青少年健全育成条例で、保護者は午後11時以降に青少年を外出させないよう努めなければならない」と規定しているのを「存じてしょうか。子どもは親の姿を見て育つといわれていますから、まず、親であることの自覚を持ち、手本を見

せることが必要だと思います。市でも、そんな親に対して、親であることの意識つけのきっかけとなるような講座などを行つてはいかがでしょうか。

言葉に、家庭、学校、地域社会と関係機関が連携をはかり、青少年が豊かな人間性あふれる社会人として成長できる環境づくりに、取り組んでいます。ご意見のようにつ、家庭は社会を形成する基礎で、青少年の健全育成には欠かせません。これから、家庭教育の大切さを訴える活動を行っていきます。

担当 自治振興課

## 夏休み 気が緩みがちな子ども達に

### 保護者が手本になりましょう



物見山へのハイキング

草花で飾っています。また、家庭菜園も盛んで、人間川の河川敷や休耕田を利用してそれぞれが野菜づくりを楽しんでいます。最近では、自治会内の有志で「寿会」が発足しました。これからの自治会活動がますます楽しみですと なつて います。

## いからや自治会

下広瀬団地自治会

下広瀬団地自治会は、昭和54年4月に水富三区自治会から分離した会員約120名の小さな自治会です。下広瀬住宅団地は、南側に人間川を臨み、中ほどには水田があるなど、自然に恵まれた環境に立地している全部が一戸建ての住宅団地です。自治会の特徴は、自然を愛する方が多いことです。自治会員の多くが、庭だけでなく家の周りまでも、四季の

## Assistant Language Teacher



Steven Katienb  
スティーブン・ケイツン  
(人間中学校勤務)

カナダ出身  
狭山市のALTとして勤務は3年め  
趣味は合気道と空手

Summer vacation is upon us! In Canada, students often get summer jobs or we go to enrichment and experience schools to learn about a profession, or different lifestyle. I grew up in a small town outside of Montreal, so in junior high school, I went to a school in the city to study and learn about culture and science through field trips to museum, companies and universities. It was an invaluable experience and I learned first-hand about why I was studying so many things. I hope all the students in Sayama take the initiative to go outside their school to learn about the world and understand why they study Math, Science, Home economics, Social Studies, Japanese or English.

今は夏休み!カナダの学生たちは、よく夏の仕事(アルバイト)をしたり、人を豊かにしてくれる場所や体験学習に行ったりして、職業やいろいろな生活様式を学びます。私は、モントリオール郊外の小さな町で育ちました。中学時代は、モントリオールの中学校に通い、博物館、会社、大学への校外学習をととして、文化や科学を学びました。これは、とても貴重な体験でした。そして、なぜたくさんのかを勉強するのか、直に学んだのです。

狭山の子も達もみんな、率先して校外へ出て、世の中について学習し、なぜ、数学、理科、家庭科、社会、日本語、あるいは英語を勉強するのかを理解してもらいたいですね。(英文の要約)

広報課では、皆さんの「声」をお待ちしています。お寄せいただく際は、必ず住所、氏名、電話番号をご記入ください。  
☎2954 6262(代) Eメール koho@city.sayama.saitama.jp